

【新学習指導要領移行における変更について】 新学習指導要領への移行に伴い、各教科の生徒が身に付けるべき観点が、国語5観点、その他の教科4観点から、全教科共通の3観点に変更になりました。観点の内容は次の3つです。 ● 知識及び技能 ● 思考力、判断力、表現力等 ● 主体的に学習に取り組む態度	【美術科の目標】 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現の方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
---	--

学習内容(予定時間数)

一学期 (14.9)	二学期 (16.8)	三学期 (11)
【4月～5月】 ガイダンス (1) 「印象に残るシンボルマーク」 (6)	【8、9月～10月】 「自然の形や色をみつめて」 (7)	【1月】 「文字で楽しく伝える」 (4)
【5月～6月】 「見つめ,感じ取り,描く」 (6)	【10月～11月】 「見えないものをあらわす」 (7)	【2月】 「文字で楽しく伝える」 (4)
【6月～7月】 「色や光の特徴を知ろう」 (1.9)	【12月】 「風神雷神図屏風」 (2.8)	【3月】 「文字で楽しく伝える」 (3)

評価の観点と規準 (各観点の割合はすべて達成率100%で統一する)			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価の規準のポイント、アドバイス
I	<知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・アイディアスケッチ ・ワークシート ・制作活動の様子 ・完成作品 ・定期テスト など	・道具の扱い方をおさえる。 ・素材の違いや特徴を捉える。 ・制作手順を把握し、自分で計画的に取り組む。
II	<思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・アイディアスケッチ内容 ・ワークシート内容 ・制作活動の様子 ・自己評価カード ・発言内容 ・定期テスト など	・自分で資料や材料を日ごろから集めておく。 ・色や形に着目しより良い表現方法を試みる。 ・参考となる作品の表現力を感じ取り言葉にし、作品に反映させていく。
III	<主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 ・授業態度、提出物の状況などの平常点 など	・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 ・提出物の期限を守り、忘れ物をしないよう心掛ける。 ・自分なりの自習方法を見つけ、取り組もうとする。